

# 神無月俳句・短歌集

## 城辺俳句会

鳳仙花弾けて飛ばぬ紫電改  
 亡き人を偲ぶ夕べの流れ星  
 夜明けより今日もはじまる蝉時雨  
 水遊び過疎の町にも子らの声  
 木漏れ日やややに浴びせる日向水  
 風孕みさざ波おこる青田かな  
 蝉時雨夢の中でも大合唱  
 万物は青息吐息酷暑来る

## 城辺川柳会

老いて尚女心のうす化粧  
 女なら誰も乗りたい玉の輿  
 悲しみに合うても女強く生き  
 白桃の裸身湯船で桜色

松本 種夫  
 倉田美津枝  
 大浜 紀子  
 出口 恵子  
 加納 幸子  
 宮田志賀子  
 山田 静恵  
 大和田いそ子

### 「女」

栄華  
 能子  
 トクエ  
 あき子

しとやかな女がみせたかくし芸  
 嫁姑妻母婆で女です

玉子  
 撫子

戦争で泣いた女の戦後哉  
 菩薩にも夜叉にもなれずただ女  
 人並に女であつた花の頃  
 バーゲンのチラシに女走らされ  
 盆踊り女が燃える夜の花  
 耐え忍ぶ昔の女もういない

拵  
 百代  
 暁  
 一会  
 佐賀  
 律子

### 新くさの葉短歌会(なすな)

八十七歳どれほど体の動くかを試さんとして自転車競技に出る  
 字は母をまねて練習せよと言ふその父の字も私は好き  
 レースのカーテンに簾も重ね掛けをれど午後の日差し暑さはまる  
 読みをりし本に顔を伏せぐつすり眠ってをりし五分余りを  
 帰りには二・三歳若くなるはずと派手目の服で行く美容院  
 十束の紫蘇をもみたる指先の赤く染まりて夕べに匂う

吉田 信保  
 藤森多摩子  
 松比良スミ子  
 高橋千代子  
 宮下喜久子  
 河上 明美



## はじめまして。赤ちゃん。

8月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

## ご冥福をお祈りします。

8月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。